

日本人間工学会 第65回大会 参加ガイド

開催日：2024年6月22日(土), 23日(日)

開催地：公立千歳科学技術大学 本部棟

URL: <https://www.chitose.ac.jp/info/access>

所在地：北海道千歳市美々758-65



会場へ

→ 新千歳空港から会場への直接アクセス

1. タクシー「千歳科技大 本部棟 玄関」まで 約10分 料金 約1,900円
行き先「公立千歳科学技術大学 本部棟 正面玄関」を運転手に指示してください。
 2. 有料路線バス 国内線28番(ANA側), または, 国内線1番(JAL側)乗り場より約10分,
「大学正門前」下車 料金300円程度 (ただし, 1日3便のみ)
※時刻表, 空港の「バスのりば」は3~4ページの有料路線バスの欄を参照
- ※ 他のかたは, 国内線ターミナル地下のJR新千歳空港駅より快速エアポートに乗りし,
次の南千歳駅で下車してください。

→ JR南千歳駅から

1. 北口のロータリー発 大学行きシャトルバスに乗り 約10分
※朝7~8時台のバスは大変混雑いたしますので, 時間に余裕を持ってお越しください。
※シャトルバスの乗り場と時刻表は3~4ページ案内図を参照
2. 北口のロータリーよりタクシーに乗り「千歳科技大 本部棟 玄関」まで約8分 約2,000円
3. 徒歩 約3km (国道36号線に沿って歩く)…5ページ参照

→ JR千歳駅から

1. 東口シャトルバス乗り場よりバスに乗り 南千歳駅経由 約20分
※シャトルバスの乗り場と時刻表は3~4ページを参照
2. 西口タクシー乗り場よりタクシーに乗り 約10分 2,160円

→ JR札幌駅から

- 5番線または6番線 新千歳空港行き 快速エアポートに乗りし, 南千歳駅下車
- 各駅停車よりも後続の快速エアポートの方が先に到着します。
- 南千歳駅までの乗車時間は約30分です。南千歳駅から会場へのアクセスについては上記を参照ください。

→ レンタカー, 乗用車でお越しの場合

- 本部棟駐車場(シャトルバスのりば付近)をご利用ください。
 - ◇ 研究棟に駐車した場合, 本部棟までは徒歩で7分程度を要します。
 - ◇ 正面玄関付近, 道路等には駐車しないでください。駐車違反取締りの対象となります。
 - ◇ 駐車場での事故・盗難等, トラブルの責任は負えません。予めご了承ください。

JR北海道ホームページ(新千歳空港から札幌駅方面の時刻表が分かるサイト)

<https://jrhokkaidonorikae.com/vtime/vtime.php?s=9650&d=20240621>



会場より

➔ 新千歳空港方面

- シャトルバスを利用し、南千歳駅で乗りかえる場合
 1. 次の停留所「南千歳駅」下車 快速エアポート「新千歳空港行き」乗車 約4分
※シャトルバスの時刻表は3~4ページを参照
- 路線バス
 2. 大学正門横「大学正門前」より「あつまバス」千歳駅行きに乗車、約10分(但し1日3便)
※時刻表は3~4ページを参照
 - ✓ 停留所「大学正門前」は、降車(行き)、乗車(帰り)とも同じ停留所を利用するため、道路の片側(大学正門横)にのみ設置されています。
 - ✓ ANA, AirDo, Peach 等を利用する場合...「国内線 28 番」停留所下車
 - ✓ JAL, SkyMark, JetStar 等を利用する場合...「国内線 1 番」停留所下車
- タクシー(ページ下に電話番号を記載)
 - ◇ 大学から乗車時間 約10分 料金 約1,900円
 - ✓ 電話などで呼ぶ場合、運転手に行き先を伝える場合には、「公立千歳科学技術大学 本部棟の正面玄関」を指定してください。
- JR 南千歳駅まで徒歩(3km, 35分)……5ページを参照

➔ JR 千歳駅, JR 札幌駅方面

- シャトルバス
 - ◇ 終点「千歳駅」下車
※シャトルバスの時刻表は3~4ページ
- JR 千歳駅より快速エアポート札幌行き／小樽行きに乗車
 - ◇ 最新の時刻表は JR 北海道のホームページにてご確認ください。
快速エアポートは1時間に4~6本、各駅停車は1本程度です。
所要時間は30分(快速)~45分(区間快速の場合)

タクシー会社の電話番号(※DiDiアプリとGOアプリも利用できます。)

駅にタクシーがない場合がありますので、電話かアプリでタクシーを呼んでください。

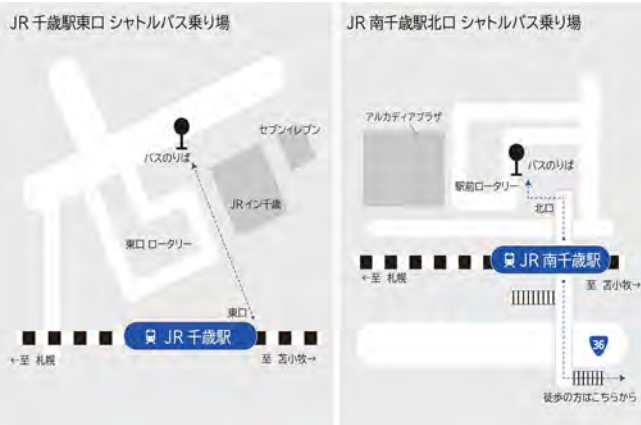
- | | | |
|-----------------------|-----------|--------------|
| ●千歳交通(株) 0123-23-3121 | ●北交ハイヤー | 0123-23-4141 |
| ●昭和交通(株) 0123-24-6000 | ●北都交通(株) | 0123-40-8000 |
| ●金星ハイヤー011-881-8801 | ●ゆたか交通(株) | 073-452-7555 |

公立千歳科学技術大学 シャトルバス時刻表 令和6年6月22日(土)

2024.05.10現在

往 路	10分	10分	
千歳駅発	南千歳駅発	本部棟着	備考 Note
7:15	7:25	7:35	
7:50	8:00	8:10	
8:00	8:10	8:20	
8:25	8:35	8:45	
8:35	8:45	8:55	
10:05	10:15	10:25	
11:45	11:55	12:05	
12:55	13:05	13:15	
14:35	14:45	14:55	

	10分	10分		
復 路	本部棟発	南千歳駅着	千歳駅着	備考 Note
1	10:45	10:55	11:05	
2	12:15	12:25	12:35	
3	13:35	13:45	13:55	
4	15:15	15:25	15:35	
5	16:55	17:05	17:15	
6	17:00	17:10	17:20	
7	17:10	17:20	17:30	
8	17:35	17:45	17:55	
9				



有料路線バスのりば
※本部棟玄関より左方向です

大会会場
公立千歳科学技術大学 本部棟



懇親会 会場行き

本部棟発	ANAクラウンプラザホテル 着		備考 Note
16:45	17:05		
17:25	17:45		

《有料路線バス: あつまバス》

往 路

千歳駅前	南千歳駅	新千歳空港 国内線28番	新千歳空港 国内線1番	大学正門前
7:55	8:06	8:09	8:10	8:20
13:15	13:26	13:29	13:30	13:40
19:30	19:41	19:44	19:45	19:55

復 路

大学正門前	新千歳空港 国内線28番	新千歳空港 国内線1番	南千歳駅	千歳駅前
7:17	7:25	7:26	7:33	7:44
12:34	12:42	12:43	12:50	13:01
18:49	18:57	18:58	19:05	19:16

《注意事項》

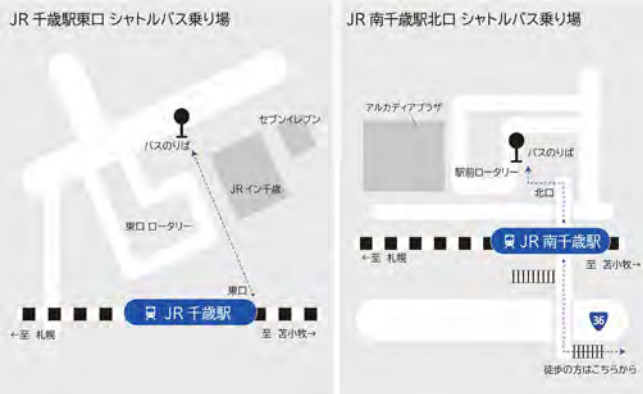
- ① このバスは、あつまバスが運行している路線バス(有料)です。
南千歳駅と大学正門前の間に新千歳空港を経由します。
- ② バス乗り場:千歳駅前 は、千歳駅バスターミナル 西口3番乗り場です。
- ③ バス乗り場:南千歳駅 は、国道沿い(シャトルバス乗り場とは線路を挟んで反対側)にあります。
往路は線路側、復路は滑走路側です。
- ④ バス乗り場:大学正門前 は、本部棟から出た道路沿いにあるバス停(あつまバス)です。
往路・復路ともに同じ乗り場です。
- ⑤ 料金は、大学~南千歳駅が280円、大学~千歳駅は420円です。
- ⑥ その他詳細については、あつまバス(0145-27-2311)まで直接お問い合わせください。

公立千歳科学技術大学 シャトルバス時刻表 令和6年6月23日(日)

2024.05.10現在

往 路	10分	10分	
千歳駅発	南千歳駅発	本部棟着	備考 Note
7:15	7:25	7:35	
7:50	8:00	8:10	
8:00	8:10	8:20	
8:25	8:35	8:45	
8:35	8:45	8:55	
10:05	10:15	10:25	
12:55	13:05	13:15	
13:45	13:55	14:05	
15:25	15:35	15:45	

復 路	10分	10分	
本部棟発	南千歳駅着	千歳駅着	備考 Note
10:45	10:55	11:05	
12:20	12:30	12:40	
14:15	14:25	14:35	
16:05	16:15	16:25	
17:10	17:20	17:30	
17:15	17:25	17:35	
17:50	18:00	18:10	
18:00	18:10	18:20	



《有料路線バス: あつまバス》

往 路

千歳駅前	南千歳駅	新千歳空港 国内線28番	新千歳空港 国内線1番	大学正門前
7:55	8:06	8:09	8:10	8:20
13:15	13:26	13:29	13:30	13:40
19:30	19:41	19:44	19:45	19:55

復 路

大学正門前	新千歳空港 国内線28番	新千歳空港 国内線1番	南千歳駅	千歳駅前
7:17	7:25	7:26	7:33	7:44
12:34	12:42	12:43	12:50	13:01
18:49	18:57	18:58	19:05	19:16

《注意事項》

- このバスは、あつまバスが運行している路線バス(有料)です。南千歳駅と大学正門前の間に新千歳空港を経由します。
- バス乗り場:千歳駅前 は、千歳駅バスターミナル 西口3番乗り場です。
- バス乗り場:南千歳駅 は、国道沿い(シャトルバス乗り場とは線路を挟んで反対側)にあります。往路は線路側、復路は清走路側です。
- バス乗り場:大学正門前 は、本部棟から出た道路沿いにあるバス停(あつまバス)です。往路・復路ともに同じ乗り場です。
- 料金は、大学~南千歳駅が280円、大学~千歳駅が420円です。
- その他詳細については、あつまバス(0145-27-2311)まで直接お問い合わせください。



南千歳駅から会場への歩きかた

JR 南千歳改札口を出て左へ(南口を出て直進), 突き当たったら左の階段を降りてください。



JR 南千歳駅改札口(徒歩の場合は左へ, シャトルバスのり場へは右へ進み 1 階に降りる)

南千歳駅南口から会場までのルート(約 3km)

国道 36 号線の歩道を直進します。歩道橋を 2 箇所渡ります。空港から南千歳へ繋がる線路は地下を通っています。



※Google Map で徒歩のルートを検索しても正しく表示されません。Microsoft Map をご利用ください。

JR 南千歳駅から会場までの徒歩ルート(下: 苫小牧方面, 上: 札幌方面)

懇親会のご案内

日時

2024年6月22日 17時50分頃開場, 18時開始予定
大会会場から直通バスにて到着された場合には、控え室にてお待ちいただけます。

会場

ANA クラウンプラザホテル千歳

ホームページの URL と QR コード

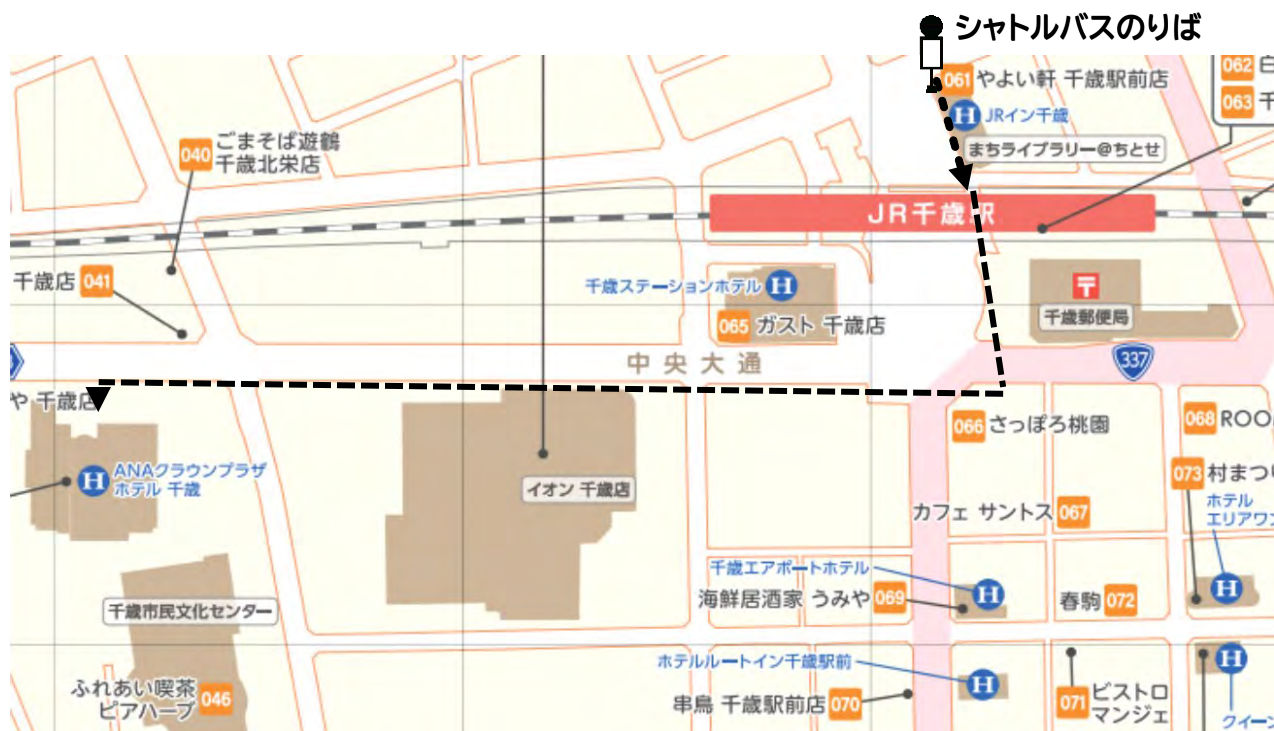
URL: <https://www.anacrowneplaza-chitose.jp/access/>



行き方

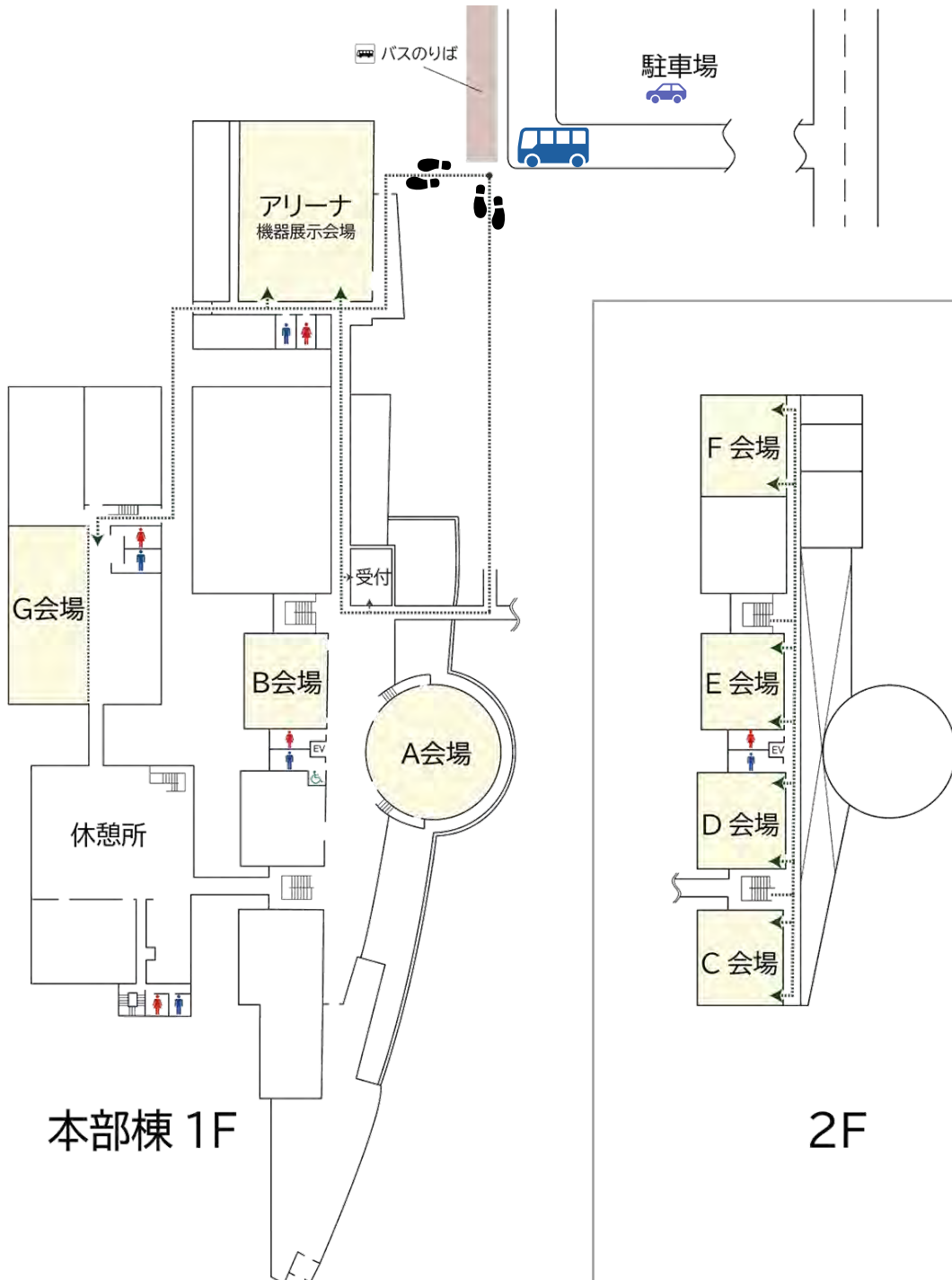
- 大会会場から直通バスを 2 本運行いたしますが、全員は乗車できませんので、可能な限り JR 千歳駅から徒歩にてお越しください。閉会後のバスの運行はございません。
- 千歳駅より徒歩 7 分(ページ下の地図を参照ください)
- お帰りは徒歩等にてお願いいたします。

千歳駅シャトルバスのりばから懇親会会場へのルート(徒歩 7 分)



大会会場 (Wi-Fi: 建物内では eduroam サービスを利用できます)

- 受付 : B会場付近のアトリウムに開設予定(開設時間はタイムテーブルを参照)
- A会場 : 特別講演, 社員総会用 大講義室
- B~G会場 : 企画セッション, 一般セッション用 教室
- アリーナ : 機器展示会場
- 休憩所 : 休憩・打ち合わせスペース(椅子・テーブルあり)



※社員総会後の理事会は、本部棟 3F B302 教室(案内図に掲載していません)にて開催します。係員がご案内します。

大会スケジュール (1日目)

※受付にて参加登録後に名札, プログラム集をお受け取りください。

※現金にて参加費・懇親会費等をお支払いの場合にはお釣りのないようご準備ください。

※18時から, 千歳駅より徒歩7分のANA CROWNE PLAZA 千歳にて懇親会を開催いたします。

1日目 6月22日(土)								
9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
受付	受付							8:30 ~ 17:00
A会場 B101			基調講演 BOLDLY株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 佐治 友基 氏	社員総会		理事会		
B会場 B102	1B1(OS17) 人間工学会60周年企画 『『ヒューマン』と『工学』 』に関わる学術領域の 将来を考えるパネルデ ィスカッション				1B3(OS1) 大会実行委員会企画 「人間中心AIを人間工 学の視点で考える」		1B4(OS7) TC159/SC4 企画シンポジウム 「ヒューマンシステム インタラクション関連 の国際標準」	
C会場 B201	1C1 一般講演 作業姿勢				1C3(OS3) PIE部会企画セッショ ン 「実場面で生理心理計 測を用いて『効果を測 る』難しさ(仮)」		1C4(OS14) 大会実行委員会企画 「デジタルヘルステク ノロジーの普及とヘルス ケアの未来-日本人間 工学会が参画するエビ デンス整備発信事業の コロキウム-」	
D会場 B202	1D1 一般講演 姿勢・動作 (1)				1D3 13:30 ~ 15:00 一般講演 歩行・姿勢		1D4 一般講演 生体計測 (1)	
E会場 B203	1E1 一般講演 感性				1E3 一般講演 安全		1E4 一般講演 組織安全	
F会場 B204	1F1 一般講演 医療・看護				1F3 一般講演 XR (1)		1F4 一般講演 姿勢	
G会場 H101	1G1(OS15) 北海道支部企画セッシ ョン 「人間工学会北海道支 部における研究成果 報告会」				1G3(OS11) 子どものICT活用委員 会企画 「学校でのICT活用と 人間工学」		1G4(OS5) 若手支援委員会×CPE共 同企画 「オールジャパン学生交流 カフェ-ジブんとナカマの 未来と人間工学-」	
アリーナ	機器展示							

大会スケジュール (2日目)

※2日目よりお越しの方は、受付にて参加登録後に名札、プログラム集をお受け取りください。

※新千歳空港発 19 時台の航空機をご利用の方は、17 時台のシャトルバスに乗り、南千歳駅で下車し、JR 新千歳空港方面の快速エアポートにお乗りください。4 分で新千歳空港に到着します。

2日目 6月23日(日)		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
受付	受付	8:30 ~ 16:00									
A会場 B101											
B会場 B102	2B1(OS16) JES理事会企画 セッション 「人間工学会としての 標準化への取り組み」	2B2(OS18) 将来構想・普及委員 会企画セッション 「デジタル社会のア クセシブルデザイン 」		2B3(OS10) CPE/ABW委員会 企画「新しい働き方 ABWの関わる人間 工学—働き方に関 わる人間工学の標 準化において」		2B4(OS13) 医療労働関連MSDs 研究部企画「医療 労働の課題から、 ヒトと知能・自律型 システムの共存を考 えるワークショップ」					
C会場 B201	2C1 一般講演 UI/UX	2C2(OS6) 編集委員会企画 「新旧編集委員長と 語ろう—編集委員 会の取り組みと今 後の方針—」		2C3 一般講演 姿勢・動作 (2)		2C4 一般講演 生体計測 (3)		2C5 一般講演 教育			
D会場 B202	2D1 一般講演 転倒・転落		2D2(OS8) バーチャルリアリ ティ学会連携企画 「バーチャルリアリ ティと人間工学」		2D3 一般講演 XR (2)		2D4 一般講演 XR (3)		2D5 一般講演 環境		
E会場 B203	2E1 9:00 ~ 10:15 一般講演 サービス	2E2 一般講演 作業・労働		2E3 一般講演 交通		2E4 一般講演 AI		2E5 一般講演 認知 (2)			
F会場 B204	2F1 9:00 ~ 10:30 一般講演 生体計測 (2)	2F2 10:40 ~ 12:10 一般講演 障がい		2F3 一般講演 認知 (1)		2F4 一般講演 装具		2F5 一般講演 デザイン			
G会場 H101	2G1(OS12) 海事人間工学研究 部企画 「航海の安全を支援 する技術と教育」	2G2(OS2) 企業活動推進委員 会企画セッション 「人間工学に取り組 む企業・研究室の紹 介～ポスター展示に よる対話形式～」		2G3(OS9) 人間工学会ワーク ーゴノミクス研究 部企画 「働き方の自己管理 ～自分を守るため に～」		2G4(OS4) 人間工学専門家認定 機構企画 「専門家の活動事例 と人間工学のコンピ テンシー」					
アリーナ	機器展示										

セッションの要領

■ 企画セッションの代表者・座長の皆様

- セッション運営は代表者・座長の先生に一任いたします。
 - ◇ 各発表者・講演者の発表時間は適宜調整してください。
 - ◇ セッション終了時刻を厳守してください。終了後、直ちに机のレイアウト変更をする場合があります。その場合には、直ちに席をあけていただきますよう、お願いいたします。
- オンラインを利用される場合には、事務局担当者とりハーサルをしてください。

■ 一般講演の座長の皆様

- 当該セッション開始 30 分前までに受付へお越しいただき、必要書類をお受け取りください。
- セッション運営は座長の先生に一任いたします。
 - ◇ 欠席者がいた場合の措置、発表順の入替えなどの措置等は座長に一任いたします。
- 終了 10 分後には次のセッションが始まるため、セッション終了時刻を厳守願います。
- 機器・設備の使用方法等については、各会場の担当学生にお尋ねください。

■ 登壇者・発表される皆様

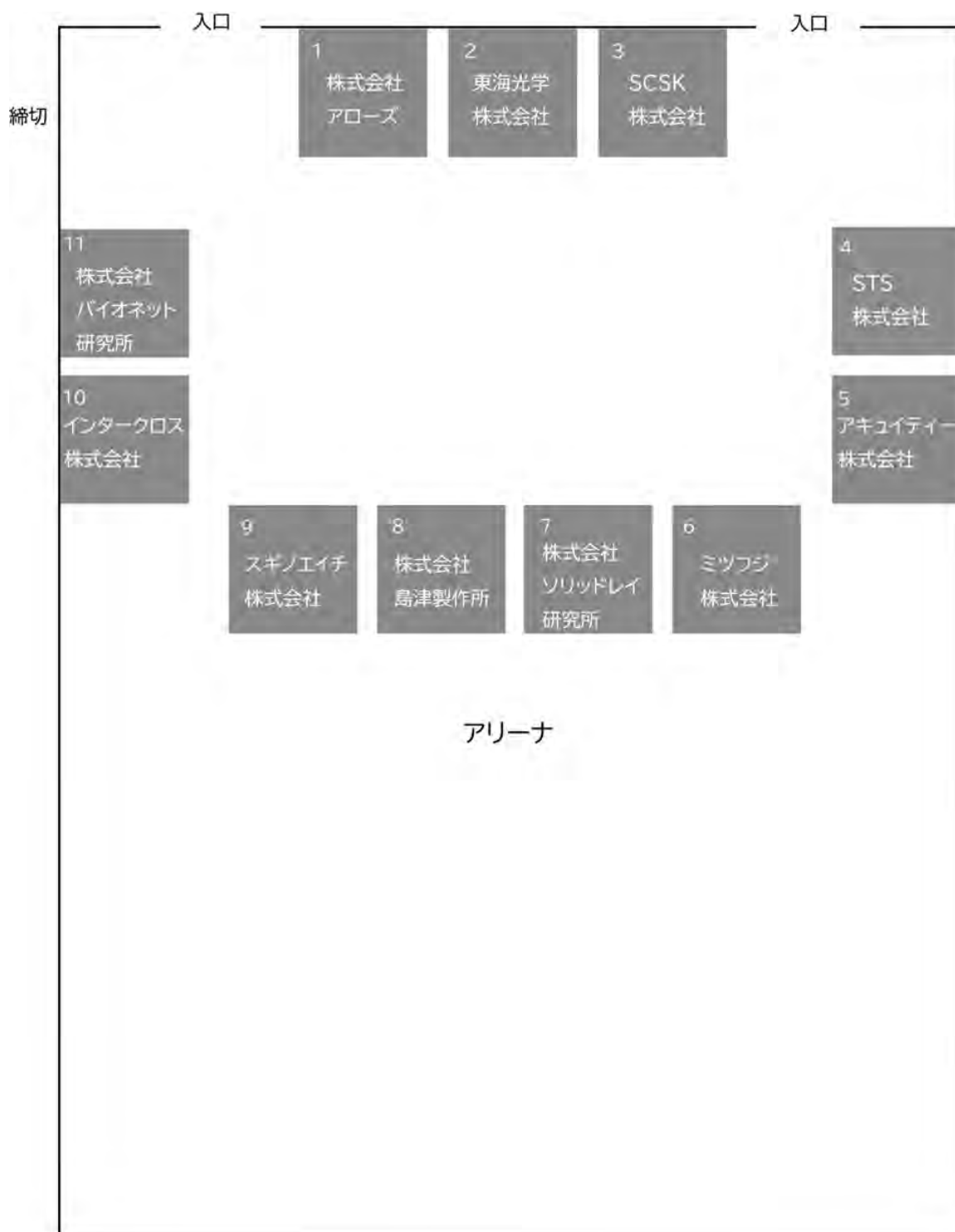
- PC によるスライド投影のため、標準タイプの HDMI コネクタに接続可能な PC および変換コネクタ類を適宜ご準備ください。
 - ◇ Macintosh PC は A 会場で接続できません。総会に登壇される方はご注意ください。
 - ◇ スライドは 16:9 または 4:3 いずれの縦横比でも投影できます。
 - ◇ 休憩時間中にスライドの試写をお願いします。
 - ◇ PC、変換コネクタ等の機材は貸与できませんので、忘れずにご持参ください。
- レーザーポインタの準備はございません。適宜ご持参・ご利用ください。
- マイクを適宜利用できます。
- 発表時間は 10 分間です。会場担当学生が、発表開始 8 分後に 1 鈴、10 分後に 2 鈴、13 分後に 3 鈴を提示します。
 - ◇ 発表者の入れ替え 2 分、発表 10 分、質疑応答 3 分を目安にしてください。
 - ◇ 一般講演では、15 分を超えて登壇することはできません。この場合、発表を打ち切らせていただきます。

■ 聴講される皆様

- B～F 会場
 - ◇ 後ろのドア(換気のため解放しています)からお入りください。前のドアは締め切ります。
- G 会場
 - ◇ 休憩時間中に会場係が座席のレイアウトを変更するため、机等の移動にご協力ください。休憩時間中にも座り続けることはできません。
 - ◇ 開放型教室のため、セッション中でも大会参加者が着席・聴講できます。

機器展示

※毎日、9時から16時まで、アリーナ(体育館)にて、人間工学関連の機器展示を開催いたします、是非、お立ち寄りください。

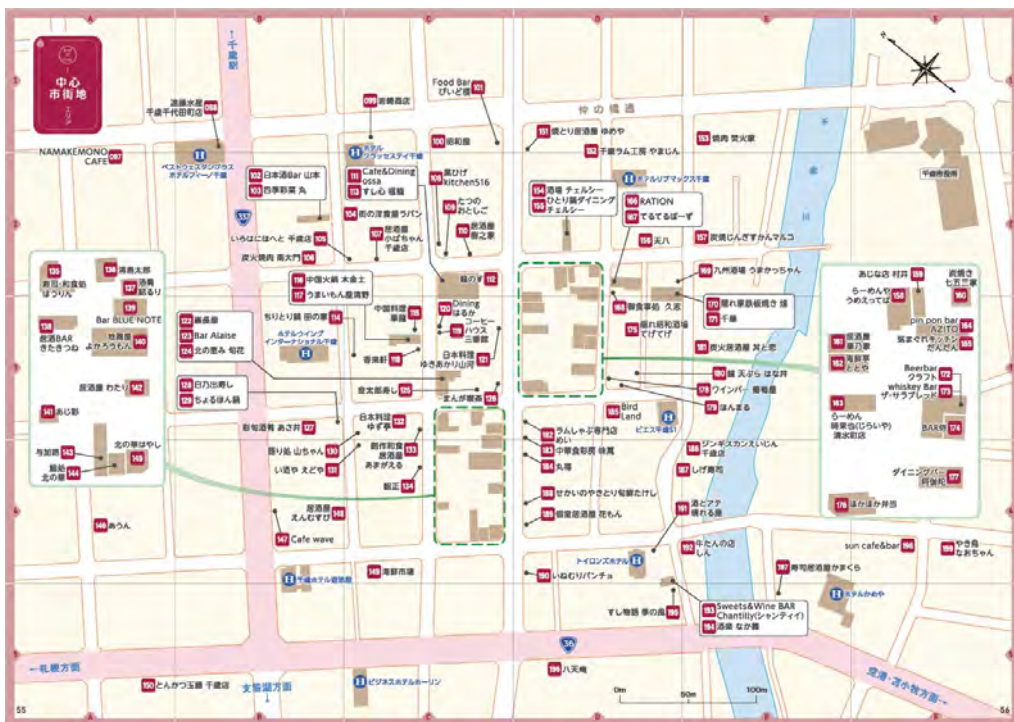
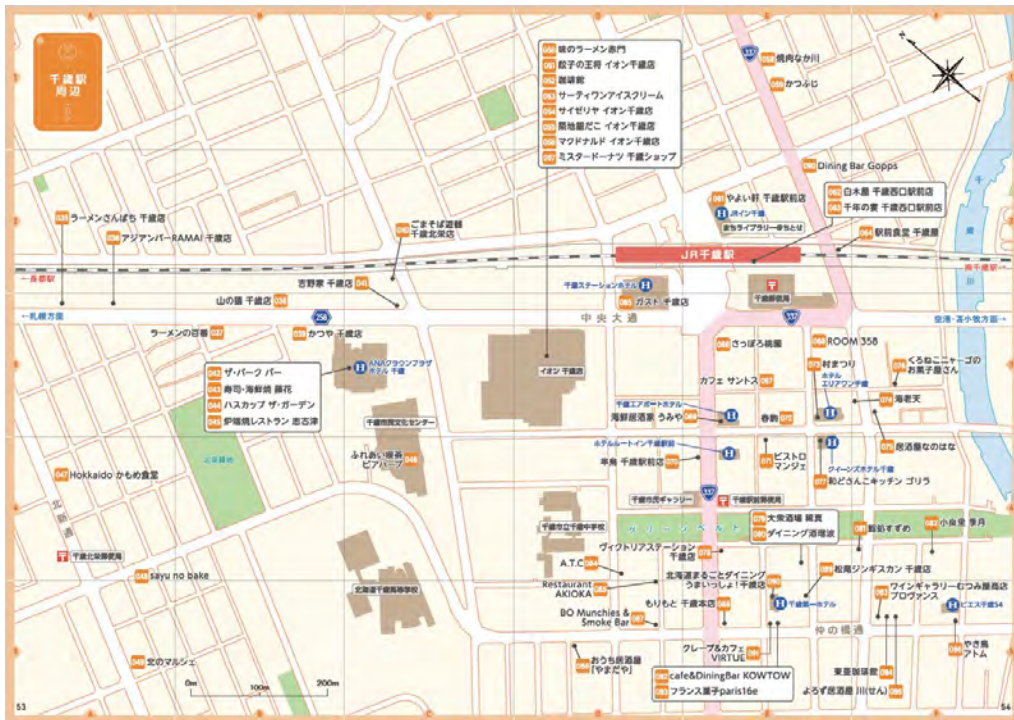


千歳市街のご案内

千歳市産業振興部商業労働課制作「ちとせのグルメ本」を Web で閲覧してください。

URL <https://www.welcome-to-chitose.jp/eat.html> (右の QR コード)

千歳での観光・食事・買い物等の詳細については大会長にお尋ねください。



大会講演プログラム

基調講演

1 日目 6/22(土)AM10:40～PM0:10

「自動運転と社会実装」

講師 佐治 友基 氏

(BOLDLY 株式会社 代表取締役社長 兼 CEO)

企画セッション

1 日目 6/22(土)AM9:00 – PM4:40

- OS1 大会実行委員会企画「人間中心 AI を人間工学の視点で考える」
福住 伸一(理化学研究所)
- OS3 PIE 部会企画セッション「実場面で生理心理計測を用いて『効果を測る』難しさ」
中川 千鶴(鉄道総合技術研究所)
- OS5 若手支援委員会×CPE 共同企画
「オールジャパン学生交流カフェ ～ジブンとナカマの未来と人間工学～」
山田 幸子(本田技研工業㈱)
- OS7 TC159/SC4 企画シンポジウム「ヒューマンシステムインタラクション関連の国際標準」
福住 伸一(理化学研究所)
- OS11 子どもの ICT 活用委員会企画「学校での ICT 活用と人間工学」
柴田 隆史(東海大学)
- OS14 大会実行委員会企画「デジタルヘルステクノロジーの普及とヘルスケアの未来
—日本人間工学会が参画するエビデンス整備発信事業のコロキウム—」
榎原 毅(産業医科大学)
- OS15 北海道支部企画セッション「人間工学会北海道支部における研究成果報告会」
小林 大二(公立千歳科学技術大学)
- OS17 人間工学会 60 周年企画「『ヒューマン』と『工学』に関わる学術領域の将来を考える
パネルディスカッション」
鳥居塚 崇(日本大学)

B 会場

B102

<OS17> AM9:00-10:30

人間工学会 60 周年企画「『ヒューマン』と『工学』に関わる学術領域の将来を考えるパネルディスカッション」

オーガナイザー 鳥居塚 崇(日本大学)

JES および隣接領域を牽引する登壇者と、「人間」および「工学」に関わる学会の在り方、独自性の活かし方、あるいはそれらの協力体制の在り方等を議論することによって、これからの社会に立ち向かい、社会課題を解決していくためのヒントを得たい。

「ヒューマン」と「工学」に関する学術領域の将来を考える

鳥居塚 崇¹, 上條 正義², 高橋 信³, 持丸 正明⁴, 大須賀 美恵子⁵ (1. 日本大学, 2. 信州大学, 3. 東北大学, 4. 産業総合技術研究所, 5. 大阪工業大学)

G 会場

H101

<OS15> AM9:00-10:30

北海道支部企画セッション

「人間工学会北海道支部における研究成果報告会」

オーガナイザー 小林 大二(公立千歳科学技術大学)
座長 千里 政文(北翔大学)

1. 動作研究に基づく仮想空間内での作業改善に関する研究
桑田 若海, 福田 龍誠, 小林 大二(公立千歳科学技術大学)
2. 自律配送車の eHMI が歩行者におよぼす影響
加藤 悠芽, 堀 伊吹, 小林 大二(公立千歳科学技術大学)
3. 中学校部活動の地域移行に伴う指導サービスの可能性と課題
—千歳市の大学生による支援活動を中心に—
駒井 叶登, 曾我 聡起, 小林 大二(公立千歳科学技術大学大学院 理工学研究科)
4. AR を用いた地域文化財の修復と情報提供に関する取り組み
鳴島 亮斗, 曾我 聡起, 小林 大二(公立千歳科学技術大学)
5. 義肢装具制作業者に対するクチコミに基づいたサービス改善の提案
中山 紘清, 原田 幸大, 佐藤 健斗(北海道科学大学)
6. 車椅子ユーザを対象とした車椅子に対するニーズの調査～SCAT を用いた検討～
山下 純矢, 三富 菜々, 佐藤 健斗, 小坂 未奈(北海道科学大学)

B 会場

B102

<OS1> PM1:30-3:00

大会実行委員会企画「人間中心 AI を人間工学の視点で考える」

オーガナイザー 福住 伸一(理化学研究所)

1. 人間とロボットとの共生とは？
福住 伸一(理化学研究所)
2. AI の UI/UX デザイン
長田 純一(公立はこだて未来大学)
3. 人間-AI 協調意思決定を促すパーソナル AI エージェントのデザイン: PAIA = Nudge + Boost
小野 哲雄(北海道大学)
4. 人間中心 AI を人間工学の視点で考える～状況認識とコミュニケーションギャップの視点から～
仲谷 尚郁(三菱重工業株式会社)
5. 社会技術システムにおける人間-AI の協働
高橋 信(東北大学 大学院工学研究科 技術社会システム専攻)

C 会場

B201

<OS3> PM1:30-3:00

PIE 部会企画セッション

「実場面で生理心理計測を用いて『効果を測る』難しさ」

オーガナイザー 中川 千鶴(鉄道総合技術研究所)

座長 栗谷川 幸代(日本大学)

1. データは誰のもの？解析は何のため？—鉄道乗務員のウェルビーイングを支えるために—
中川 千鶴¹, 金氣 綾子², 上野 成之², 吉田 顕吾², 奥平 壮臨³, 窪田 和弘⁴,
小堀 隆之⁴(1. (公財)鉄道総合技術研究所, 2. 九州旅客鉄道(株), 3. エステー
(株), 4. (株)コト)
2. 運転中の事故防止に向けたリアルタイムな生体計測の活用
田中 毅, 李 云, 三幣 俊輔, 伊藤 奈桜, 栗山 裕之(株式会社日立製作所 研究
開発グループ)
3. 指定討論
三宅 晋司(公立千歳科学技術大学), 大須賀 美恵子(大阪工業大学)

G 会場

H101

<OS11> PM1:30-3:00

子どものICT活用委員会企画「学校でのICT活用と人間工学」

オーガナイザー 柴田 隆史(東海大学)

1. 学校でのICT活用における人間工学の課題と対策
柴田 隆史(東海大学)
2. ICT機器活用における養護教諭の児童生徒に対する健康支援
藤井 彌智¹, 柴田 隆史²(1. 共愛学園中学校, 2. 東海大学
情報理工学部)
3. 学校におけるICTおよびAIを活用した学習支援
板垣 翔大(宮城教育大学)
4. 教育用途を想定した防眩フィルムの光学特性及び筆記特性
倉重 牧夫¹, 高坂 洋介¹, 石田 一敏¹, 柴田 隆史²(1. 大日本
印刷株式会社, 2. 東海大学 情報理工学部)
5. 学校教育での電子情報ディスプレイと国際標準化の動向
久武 雄三(静岡大学)

B 会場

B102

<OS7> PM3:10-4:40

TC159/SC4 企画シンポジウム

「ヒューマンシステムインタラクション関連の国際標準」

オーガナイザー 福住 伸一(理化学研究所)

1. ヒューマンシステムインタラクション関連の国際標準—SC4 活動概況—
大井 美喜江(三菱電機株式会社)
2. 視覚表示および映像の生体安全性におけるヒューマンシステムインタラクションの課題と国際標準化
氏家 弘裕^{1,2}, 兵頭 啓一郎³, 上原 伸一⁴, 多田 充徳²,
渡邊 洋²(1. 東京情報デザイン専門職大学, 2. 国立研究開発法人 産業技術総合研究所, 3. ユアサシステム機器株式会社, 4. AGC 株式会社)
3. ISO/TC159 SC4 WG5 における標準化活動の概要
大井 美喜江(三菱電機株式会社)
4. ISO/TC159 SC4 WG6 における標準化活動の概要
岡本 鉄兵(リコーイメージング株式会社)
5. ISO/TC159 SC4 WG8 における標準化活動の概要
横井 孝志(日本女子大学)
6. ユーザビリティのための産業共通様式 -ISO TC159/SC4-ISO/IEC JTC1/SC7 Joint Working Group (JWG28)の位置づけと概要
福住 伸一(理化学研究所)

C 会場

B201

<OS14> PM3:10-4:40

大会実行委員会企画「デジタルヘルステクノロジーの普及とヘルスケアの未来—日本人間工学会が参画するエビデンス整備発信事業のコロキウム—」

オーガナイザー 榎原 毅(産業医科大学)

日本医療研究開発機構のメンタルヘルスに対する DHT 予防介入指針作成事業(DeLiGHT)の概要と、当該事業におけるトレンドリサーチ(TR)及びシステムティックレビュー(SR)で得られた成果について各シンポジストより話題提供・指定発言を頂く。その後、参加者各位には DeLiGHT ウェブサイト上に掲載された TR・SR 記事の外部評価のアンケートへの回答並びに Slido 等を活用した意見交換をお願いしたい。

デジタルヘルステクノロジーの普及とヘルスケアの未来—日本人間工学会が参画するエビデンス整備発信事業のコロキウム—

榎原 毅¹, 江口 尚², 金森 悟³, 谷 直道¹, 大須賀 美恵子⁴(1. 産業医科大学 人間工学研究室, 2. 産業医科大学 産業精神保健, 3. 帝京大学 大学院公衆衛生学研究科, 4. 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部)

G 会場

H101

<OS5> PM3:10-4:40

若手支援委員会×CPE 共同企画「オールジャパン学生交流カフェ～ジブンとナカマの未来と人間工学～」

オーガナイザー 山田 幸子(本田技研工業(株))

人間工学専門家認定機構と若手支援委員会の共催で学生向けのカフェセミナーを行う。全国から学生が集まる年に一度の貴重な機会、つながるきっかけを提供して学会参加の満足度を高めたい。具体的には、人間工学をキーワードに自分と仲間の将来を考える、学生主体のグループワークやトークを行う。学生同志が親睦を深めるきっかけを提供するだけでなく、セッション運営メンバーは学生からの意見・要望に学び、次年度以降のより魅力的な若手支援施策のヒントを得る。

オールジャパン学生交流カフェ ～ジブンとナカマの未来と人間工学～

山田 幸子^{1,5}, 境 薫^{2,6}, 笹川 佳蓮^{3,5}, 石橋 圭太^{4,6}, 西原 彩⁵(1. 本田技研工業(株), 2. 富士通(株), 3. (株)イトーキ, 4. 千葉大学, 5. 人間工学専門家認定機構, 6. JES 若手支援委員会)

企画セッション

2日目 6/23(日)AM9:00 – PM5:30

- OS2 企業活動推進委員会企画セッション「人間工学に取り組む企業・研究室の紹介 ～ポスター展示による対話形式～」
佃 五月(シャープ株式会社)
- OS4 人間工学専門家認定機構企画「専門家の活動事例と人間工学のコンピテンシー」
吉武 良治(芝浦工業大学)
- OS6 編集委員会企画「新旧編集委員長と語ろうー編集委員会の取り組みと今後の方針ー」
榎原 毅(産業医科大学), 村木 里志(九州大学)
- OS8 バーチャルリアリティ学会連携企画「バーチャルリアリティと人間工学」
小林 大二(公立千歳科学技術大学), 大須賀 美恵子(大阪工業大学)
- OS9 人間工学会ワーク・アーゴノミクス研究部会企画「働き方の自己管理 ～自分を守るために～」
井出 有紀子(NEC)
- OS10 CPE/ABW 委員会企画「新しい働き方 ABW の関わる人間工学ー働き方に関わる人間工学の標準化において」
兵頭 啓一郎(ABW-C/ユアサシステム機器㈱)
- OS12 海事人間工学研究部会企画「航海の安全を支援する技術と教育」
吉村 健志(海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所)
- OS13 医療労働関連 MSDs 研究部会企画「医療労働の課題から, ヒトと知能・自律型システムの共存を考えるワークショップ」
松崎 一平(医療法人山下病院)
- OS16 JES 理事会企画セッション「人間工学会としての標準化への取り組み」
鳥居塚 崇(日本大学)
- OS18 将来構想・普及委員会企画セッション「デジタル社会のアクセシブルデザイン」
持丸 正明(産業技術総合研究所)

B 会場

B102

<OS16> AM9:00-10:30

JES 理事会企画セッション「人間工学会としての標準化への取り組み」

オーガナイザー 鳥居塚 崇(日本大学)

1. 標準化への日本人間工学会の役割と学会員への期待
鳥居塚 崇(日本大学)
2. ISO/TC159 関連標準化活動における JENC の役割
横井 孝志¹, 佐藤 洋²(1. 日本女子大学, 2. 産業技術総合研究所)
3. 人間工学 JIS ハンドブックの改訂とその活用法
福住 伸一(理化学研究所)
4. JIS 化の視点での人間工学会への期待
鐘築 利仁(一般財団法人日本規格協会)

G 会場

H101

<OS12> AM9:00-10:30

海事人間工学研究部会企画「航海の安全を支援する技術と教育」

オーガナイザー 吉村 健志(海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所)

1. 自動運航船における操船タスクの引き継ぎに関する研究
吉村 健志(国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所)
2. 客観的臨床能力試験(OSCE)を活用した新人航海士の教育訓練プログラムの開発に関する研究
杉本 一平(海技教育機構)
3. 船舶の遠隔オペレータに必要となるスキル検討への取り組み—船上オペレーションと陸上オペレーションの行動比較—
村井 康二(東京海洋大学)

B 会場

B102

<OS18> AM10:40-PM0:10

将来構想・普及委員会企画セッション「デジタル社会のアクセシブルデザイン」

オーガナイザー 持丸 正明(産業技術総合研究所)

1. これからの人間工学—デジタル社会のアクセシブルデザイン
持丸 正明(産業技術総合研究所)
2. デジタル庁におけるサービスデザインとアクセシビリティの確保に向けた取り組み
大橋 正司(デジタル庁)
3. アクセシビリティの未来と人間工学への期待—等しく参加できる ICT 社会構築に向けて—
岩崎 昭浩(日本大学 生産工学部)

C 会場

B201

<OS6> AM10:40-PM0:10

編集委員会企画

「新旧編集委員長と語ろう—編集委員会の取り組みと今後の方針—」

オーガナイザー 榎原 毅(産業医科大学), 村木 里志(九州大学)

第7～8期(2020年6月～2024年5月)編集委員会では「石を拾うことはあっても玉を捨てる事なかれ」の編集方針のもと、「理論」と「実践」の両輪を扱い、多くの読者から支持される「投稿したいジャーナル」を目指して編集を行ってきました。本企画では新旧の編集委員長より、これまでの総括と第9～10期(2024年6月～2028年5月)の今後の展開方針について紹介し、皆様と意見交換をする場としたいと思います。

編集委員会企画「新旧編集委員長と語ろう—編集委員会の取り組みと今後の方針—」

村木 里志¹, 榎原 毅²(1. 九州大学大学院芸術工学研究院, 2. 産業医科大学 人間工学研究室)

D 会場

B202

<OS8> AM10:40-PM0:10

バーチャルリアリティ学会連携企画「バーチャルリアリティと人間工学」

オーガナイザー 小林 大二(公立千歳科学技術大学), 大須賀 美恵子(大阪工業大学)

1. VR コンテンツ制作における人間工学ガイダンスとその展開

河合 隆史(早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科)

2. バーチャル共身体化における心理特性と運動特性

北崎 充晃(豊橋技術科学大学)

3. xR 技術による従業員の心身健康管理の革新

朝倉 七海(株式会社荏原製作所)

4. 学校教育における人間工学に基づく VR の活用

柴田 隆史(東海大学)

5. バーチャルオフィスが作業者の心理生理におよぼす影響

小林 大二¹, 吉田 伊吹¹, 小西 亮輔², 三宅 晋司²

(1. 公立千歳科学技術大学, 2. 公立千歳科学技術大学大学院)

G 会場

H101

<OS2> AM10:40-PM0:10

企業活動推進委員会企画セッション

「人間工学に取り組む企業・研究室の紹介 ～ポスター展示による対話形式～」

オーガナイザー 佃 五月(シャープ株式会社)

本企画セッションは、日本人間工学会 企業活動推進委員会にて企画しました。昨年実施したアンケート調査結果から、企業での人間工学活動において、“課題や困りごとがある”という割合は、約7割程度であることがわかりました。今後の企業活動の活性化に向けて、今回はポスター展示という対話形式にて、企業・大学・公設試における人間工学に関する業務や研究室を紹介しながら、より気軽に情報交換できる機会にしたいと思います。

人間工学に取り組む企業・研究室の紹介 ～ポスター展示による対話形式～

佃 五月¹, 境 薫², 仲谷 尚郁³, 大島 浩幸⁴, 平田 一郎⁵, 栗野 晃希⁶, 横山 詔常⁷, 石橋 基範⁸,下村 義弘⁹, 吉武 良治¹⁰(1. シャープ株式会社, 2. 富士通株式会社, 3. 三菱重工業株式会社, 4. 東京都立産業技術研究センター, 5. 兵庫県立工業技術センター, 6. 北海道立総合研究機構, 7. 広島県立総合技術研究所, 8. 日本大学, 9. 千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート, 10. 芝浦工業大学)

B 会場

B102

<OS10> PM0:40-PM2:10

CPE/ABW 委員会企画「新しい働き方 ABW の関わる人間工学
—働き方に関わる人間工学の標準化において—

オーガナイザー 兵頭 啓一郎(ABW-C/ユアサシステム機器株)

1. ABW とワークプレイス・デザイン

地主 廣明(東京造形大学)

2. 働き方に関わる計測法

上田 樹美, 大林 史明(京都大学)

3. コロナ前後の働き方の変化から考察する ABW の可能性について

笠松 慶子(東京都立大学)

4. 新しい働き方 ABW に関わる人間工学—働き方に関わる人間工学の標準化—

兵頭 啓一郎¹, 福住 伸一², 笠松 慶子⁴, 八木 佳子³(1. ユアサシステム機器株, 2. 国立研究開発法人理化学研究所, 3. ㈱イトーキ, 4. 東京都立大学)

G 会場

H101

<OS9> PM0:40-PM2:10

人間工学会ワーク・アーゴノミクス研究部会企画「働き方の自己管理
～自分を守るために～」

オーガナイザー 井出 有紀子(NEC)

1. 働く人のための人間工学 JIS 規格の改正

青木 和夫(日本大学)

2. 製造業における DX 推進が精神的作業負荷に及ぼす影響について

泉 博之(日本製鋼所 M&E 株式会社)

3. 自動車整備工場における疲労の一例:パワースーツ活用の実態

伊藤 勝弘(商品企画アドバイザー/整体師)

B 会場

B102

<OS13> PM2:20-PM3:50

医療労働関連 MSDs 研究部会企画「医療労働の課題から、ヒトと知能・自律型システムの共存を考えるワークショップ」

オーガナイザー 松崎 一平(医療法人山下病院)

本研究部会の掲げる「すべての医療従事者を守る快適な労働環境をつくる」を達成するには、医療従事者の人間工学に基づいた働き方の啓発が肝要である。さらに医療安全を担保しながら労働力不足を補うためのロボット、知能・自律型システムを、技術の後追いではなく人間工学視点で整備する必要がある。3名の部会員から異なる視点の医療現場の課題と現状を紹介し、ディスカッサーおよび参加者の皆様一緒に学ぶ会としたい。

医療労働関連 MSDs 研究部会企画:医療労働の課題から、ヒトと知能・自律型システムの共存を考えるワークショップ

松崎 一平¹, 斎藤 真², 川平 洋³, 谷 直道⁴(1. 山下病院, 2. 三重県立看護大学, 3. 自治医科大学, 4. 産業医科大学)

G 会場

H101

<OS4> PM2:20-PM3:50

人間工学専門家認定機構企画
「専門家の活動事例と人間工学のコンピテンシー」

オーガナイザー 吉武 良治(芝浦工業大学)

1. DX 人材育成領域における NEC の取組みと人間工学専門家の活動
井出 有紀子(NEC)
2. 製品と空間を創造するオカムラの人間工学—認定人間工学専門家の取り組み
浅田 晴之(株式会社オカムラ)
3. 島津製作所における人間工学専門家の活動
水本 徹(株式会社島津製作所)
4. 人間工学及び HCD, DX 人材のコンピテンシー
吉武 良治¹, 八木 佳子²(1. 芝浦工業大学, 2. 株式会社イトーキ)
5. 人間工学専門資格制度と最新動向
八木 佳子(株式会社イトーキ)

一般講演

1 日目 6/22(土)AM9:00 – PM4:40

座長

1C1	作業姿勢	大西 明宏(労働安全衛生総合研究所)
1D1	姿勢・動作(1)	小谷 賢太郎(関西大学)
1D3	歩行・姿勢	村木 里志(九州大学)
1D4	生体計測(1)	中川 千鶴(鉄道総合技術研究所)
1E1	感性	笠松 慶子(東京都立大学)
1E3	安全	庄司 卓郎(産業医科大学)
1E4	組織安全	前田 典幸(原子力安全推進協会)
1F1	医療・看護	斎藤 真(三重県立看護大学)
1F3	XR(1)	加藤 麻樹(早稲田大学)
1F4	姿勢	鈴木 郁(法政大学)

C 会場
B201

作業姿勢 (AM9:00-10:30)

座長 大西 明宏(労働安全衛生総合研究所)

1. OpenPose による REBA に基づく作業姿勢の評価
肥田 拓哉¹, 松本 京子², 松本 俊之²(1. 早稲田大学, 2. 青山学院大学)
2. 体重の割合による持ち上げ重量上限値と腰部負担の関係—腰部椎間板圧縮力からの検討—
小山 冬樹, 杜 唐慧子, 岩切 一幸(独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)
3. 圧縮力及び剪断力の同時負荷状態における椎間板の力学的特性に関する研究
三岩 功季, 池浦 良淳, 早川 聡一郎, 吉田 俊一(三重大学)
4. アウトドアチェアや 360 度揺れる椅子をオフィス作業に用いた際の身体的負担とその座り心地の評価
野田 彩加¹, 土井 俊央²(1. 大阪市立大学, 2. 大阪公立大学)
- 5.トラック運転士の主観疲労に関する解析
伊藤 奈桜, 田中 毅, 李 云, 三幣 俊輔, 栗山 裕之(株式会社日立製作所 研究開発グループ)
6. 人に優しく安全なラバーアクチュエータの活用検討
北原 篤¹, 宮崎 哲郎², 川嶋 健嗣², 大野 信吾¹(1. 株式会社ブリヂストン, 2. 東京大学)

D 会場
B202

姿勢・動作(1) (AM9:00-10:15)

座長 小谷 賢太郎(関西大学)

1. モーションデータを用いた荷役作業時の重量推定
茅原 崇徳¹, 松本 悠希¹, 佐藤 あかね², 坂本 二郎¹(1. 金沢大学, 2. 金沢大学大学院)
2. マーカレスモーションキャプチャを用いた関節モーメント解析手法の検証
勝平 純司, 嶺 也守寛, 古川 和稔(東洋大学)
3. 人体の 2 次元剛体リンクモデルを用いた作業動作中の力学的負荷解析と動作の最適化
黒川 勝永, 廣川 敬康(近畿大学)
4. 3次元立体姿勢計測と OWAS 法解析の全自動化を目指して
大橋 正隆, 津田 美幸, 高橋 義知, 新川 隆朗(株式会社バイオネット研究所)
5. デジタルヒューマンを活用した最適作業動作の提案
志子田 繁一¹, 福井 航², 森 亮太², 平田 一郎², 南斉 亮佑², 安東 隆志²(1. 川崎重工業株式会社, 2. 兵庫県立工業技術センター)

E 会場

B203

感性 (AM9:00-10:30)

座長 笠松 慶子(東京都立大学)

1. 「伝えられない」コトの研究—ノン・アサーティブに着目して—
谷合 望々¹, 笠松 慶子¹, 相野谷 威雄²(1. 東京都立大学大学院 システムデザイン研究科, 2. 東京工科大学大学院 デザイン研究科)
2. 周波数変調した咀嚼気導音による破碎のある食感への影響
小野 徳士¹, 中本 裕之¹, 平田 一郎²(1. 神戸大学, 2. 兵庫県立工業技術センター)
3. 名刺の色と香りが人物の印象に与える影響
奥田 紫乃¹, 能勢 千夏¹, 竹村 明久², 岡嶋 克典³(1. 同志社女子大学, 2. 摂南大学, 3. 横浜国立大学)
4. 評価グリッド法によるレトロな空間の魅力についての価値評価構造
永田 蒼衣¹, 土井 俊央²(1. 大阪市立大学, 2. 大阪公立大学)
5. ゲームメカニクスとボードゲームの魅力の関係
井上 陽斗, 吉武 良治(芝浦工業大学)
6. 感情伝達のための肩タッチ動作の特徴
八尋 美桜¹, Teerapapa Luecha², 原田 咲月¹, 高井 伶遠¹, 村木 里志²(1. 九州大学大学院芸術工学府, 2. 九州大学大学院芸術工学研究院)

F 会場

B204

医療・看護 (AM9:00-10:15)

座長 斎藤 真(三重県立看護大学)

1. 内視鏡外科手術の進歩と人間工学的課題
篠原 一彦(東京工科大学)
2. 育児経験の有無による子守帯の適正装着率の比較とその要因
青木 真希子¹, 鈴木 聡²(1. 順天堂大学, 2. 神奈川工科大学)
3. 配薬時のヒューマンエラー防止に関する研究
前田 真由美, 長谷川 智之, 斎藤 真(三重県立看護大学)
4. 薬剤師による鑑査業務時の処方せんへの注視傾向: 経験による差異の明確化
前田 佳孝¹, 片野 昌宏², 今井 靖²(1. 自治医科大学 メディカルシミュレーションセンター, 2. 自治医科大学附属病院 薬剤部)
5. 旅行困難者が本当に海や山に旅行できるの? を実現するフィールド検証 2
久保 雅義, 中村 敏(芸術文化観光専門職大学)

D 会場
B202

歩行・姿勢 (PM1:30~3:00)

座長 村木 里志(九州大学)

1. つま先歩行における下肢の筋活動強度および動作の特徴
高井 伶遠¹, 原田 咲月¹, Wen Liang Yeoh², 村木 里志³(1. 九州大学大学院 芸術工学府, 2. 佐賀大学 理工学部, 3. 九州大学大学院 芸術工学研究院)
2. 歩行における若年者と高齢者の左右差の比較
松元 悠真, 勝平 純司(東洋大学大学院)
3. 靴のミッドソールの硬度が階段昇降動作に与える影響
原田 咲月¹, Wen Liang Yeoh², 角 紀行³, 和田 健希³, 武本 悠希³, 村木 里志⁴(1. 九州大学大学院 芸術工学府, 2. 佐賀大学 理工学部, 3. 株式会社ムーンスター, 4. 九州大学大学院 芸術工学研究院)
4. ミドルヒールのパンプス着用が姿勢安定性と足部動態に与える影響
—スニーカー着用との比較—
齋藤 誠二¹, 村山 恵美里², 赤木 暢浩², 角 紀行², 和田 健希², 武本 悠希², 小東 千里²(1. 岡山県立大学 情報工学部, 2. 株式会社ムーンスター)
5. ランニングフォーム実時間フィードバックデバイス—初心者のランニングフォーム改善—
鈴木 郁(法政大学理工学部)
6. 危険事象の経験が姿勢制御と力の発揮戦略に与える影響に関する基礎的検討
平内 和樹¹, 羽鳥 康裕¹, 菅間 敦²(1. 労働安全衛生総合研究所, 2. 成蹊大学 理工学部)

E 会場

B203

安全 (PM1:30~3:00)

座長 庄司 卓郎(産業医科大学)

1. オンライン作業における心理的安全性確保のための環境要因
高橋 雄三(広島市立大学大学院 情報科学研究科)
2. 視覚的な手がかりとなる情報への依存と状況変化への対処に及ぼす影響に関する考察
池田 大起¹, 吉田 悠², 狩川 大輔³, 菅野 太郎⁴, 井上 諭⁵, 野々瀬 晃平⁶, 鳥居塚 崇²(1. 日本大学大学院 生産工学研究科, 2. 日本大学 生産工学部, 3. 東北大学大学院 工学研究科, 4. 東京大学大学院 工学系研究科, 5. 海上・湾港・航空技術研究所, 6. 電力中央研究所)
3. 消防隊員に求められる隊員行動の特徴に関する検討
小嶋 駿介¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
4. ドライバの性格特性に基づくリスク認知の予測
目片 悠貴, 田中 秀典, 片桐 英樹(神奈川大学)
5. ノンテクニカルスキルの教育ツール開発と導入戦略
兼子 貴憲, 千葉 武史, 藤代 博明, 楠神 健(東日本旅客鉄道株)
6. VR を用いた安全教育の効果に関する研究
白石 彩花¹, 庄司 卓郎²(1. UBE 株式会社, 2. 産業医科大学)

F 会場

B204

XR(1) (PM1:30~3:00)

座長 加藤 麻樹(早稲田大学)

1. 両眼視差映像による空飛ぶクルマの遠隔操縦成績への影響に関する研究
横山 拓哉, 伊藤 一也(大阪産業大学)
2. MR グラスを活用したフォークリフト作業支援の検討—フォークリフト作業における MR グラスの受容度と課題について—
塚原 啓介¹, 仲谷 尚郁¹, 明石 拓也²(1. 三菱重工業株式会社, 2. 三菱ロジスネクスト株式会社)
3. バイオモルフィック要素が仮想空間内での歩行におよぼす効果
長谷川 美鈴¹, 中居 真愛², 小林 大二¹(1. 公立千歳科学技術大学, 2. 公立千歳科学技術大学大学院)
4. VR 空間上における道路環境と運転行動との関連性
矢野 直太, 竹安 広樹, 高 東映, 畑 美緒, 村野 良太, 加藤 麻樹(早稲田大学)
5. スポーツ・農業体験と仮想オフィスを取り入れたワーケーションの効果
岩浅 巧¹, 白川 真裕², 佐藤 慎也³, 永田 翔多⁴, 高橋 雄太⁵, 沖本 勝勇⁶(1. 石巻専修大学, 2. 聖徳大学, 3. 損害保険ジャパン株, 4. ANA あきんど株, 5. 株ココロミル, 6. 美津濃株)
6. オフィスおよびワーケーション先におけるワークスペース環境のニーズと評価
白川 真裕¹, 岩浅 巧², 佐藤 慎也³, 永田 翔多⁴, 高橋 雄太⁵, 沖本 勝勇⁶(1. 聖徳大学, 2. 石巻専修大学, 3. 損害保険ジャパン株, 4. ANA あきんど株, 5. 株ココロミル, 6. 美津濃株)

D 会場

B202

生体計測(1) (PM3:10~4:40)

座長 中川 千鶴(鉄道総合技術研究所)

1. 高電圧インパルスバリア放電による皮膚テクスチャ変化の計測
鈴木 誠一, 加藤 茂, Christine Wiyono, 明石 基洋(成蹊大学 理工学部)
2. 生理・行動データによるフローに関する心理状態の分類
伊藤 拓巳, 吉武 良治(芝浦工業大学大学院)
3. ベッド設置型センサで測定した睡眠中の心拍数・呼吸数を用いた月経周期の推定
片山 璃沙子, 塩貝 有里, 木暮 貴政(パラマウントベッド株式会社 パラマウントベッド睡眠研究所)
4. オフィスチェアにおける足のむくみの時系列変化のモデル化
和田 直也, 平尾 章成(芝浦工業大学)
5. ファン付き作業服を着用した人体の対流熱伝達率に関する研究(その2)胴体を模擬した発熱円筒を用いた基礎実験
桑原 浩平(室蘭工業大学)
6. HMD による頭部重心の変化が眼球-頭部協調運動に与える影響
小谷 賢太郎, 汐崎 賢児, 鈴木 哲, 朝尾 隆文(関西大学 システム理工学部)

E 会場

B203

組織安全 (PM3:10~4:40)

座長 前田 典幸(原子力安全推進協会)

1. 安全に焦点を当てた組織文化アセスメント(安全文化アセスメント)の実践
その1:安全文化アセスメントとは
武藤 敬子, 前田 典幸(一般社団法人 原子力安全推進協会)
2. 安全に焦点を当てた組織文化アセスメント(安全文化アセスメント)の実践
その2:安全文化アセスメントの方法と課題
前田 典幸, 武藤 敬子(一般社団法人 原子力安全推進協会)
3. 不祥事を繰り返す組織の共通要因の抽出
武藤 敬子, 山形 浩史, 張 坤(長岡技術科学大学)
4. 若年者の安全衛生意識を向上させるためのミーティングツールアプローチの提案
松田 文子, 池上 徹, 山村 昌代(大原記念労働科学研究所)
5. 建設作業員の安全意識にワークエンゲイジメントが及ぼす影響
大庭 明, 庄司 卓郎(産業医科大学)
6. 鉄道乗務員の弱点を把握・克服できる訓練方法に関する研究
山川 朋子, 石田 拓司, 藤代 博明, 楠神 健(東日本旅客鉄道株)

F 会場

B204

姿勢 (PM3:10~4:40)

座長 鈴木 郁(法政大学)

1. 自動車シートサポート駆動による疲労低減と覚醒効果
鈴木 宏海, 平尾 章成(芝浦工業大学)
2. 建機シートの座り心地評価構造の解明
三浦 秀太¹, 平尾 章成¹, 古谷 健²(1. 芝浦工業大学, 2. 小松製作所)
3. オフィスワーク中の集中度と姿勢変化・体圧・生理量の関係解析
蒔田 幹将, 平尾 章成(芝浦工業大学)
4. 基底面からのベクトルの異なる身体部位によるライトタッチが静止立位姿勢に与える影響
高 東暎, 矢野 直太, 竹安 広樹, 畑 美緒, 村野 良太, 加藤 麻樹(早稲田大学)
5. 妊婦における姿勢の違いが胴部形状に与える影響
田中 あゆみ¹, 丸田 直美², 村木 里志³(1. 和洋女子大学, 2. 共立女子大学, 3. 九州大学)
6. 身体負荷可視化用 AI カメラのフィールドテスト
田河 琴音¹, 川野 常夫², 松尾 英治³(1. 摂南大学大学院, 2. 摂南大学理工学部, 3. 松尾電機エンジニアリング)

一般講演

2 日目 6/23(日)AM9:00 – PM5:30

座長

2C1	UI/XI	榎原 毅(産業医科大学)
2C3	姿勢・動作(2)	辛島 光彦(東海大学)
2C4	生体計測(3)	三林 洋介(玉川大学)
2C5	教育	吉武 良治(芝浦工業大学)
2D1	転倒・転落	黒坂 知絵(産業医科大学)
2D3	XR(2)	河合 隆史(早稲田大学)
2D4	XR(3)	倉岡 宏幸(公立千歳科学技術大学)
2D5	環境	泉 博之(日本製鋼所 M&E 株式会社)
2E1	サービス	小林 大二(公立千歳科学技術大学)
2E2	作業・労働	山田 クリス 孝介(東海大学)
2E3	交通	栗谷川 幸代(日本大学)
2E4	AI	福住 伸一(理化学研究所)
2E5	認知(2)	吉成 哲(室蘭工業大学)
2F1	生体計測(2)	高橋 雄三(広島市立大学)
2F2	障がい(日本大学)	山田 晋平(産業医科大学)
2F3	認知(1)	蜂須賀 知理(東京大学)
2F4	装具	佐藤健斗(北海道科学大学)
2F5	デザイン	谷 直道(産業医科大学)

C 会場
B201

UI/UX (AM9:00～10:00)

座長 榎原 毅(産業医科大学)

1. 乳幼児アレルギー調査研究用アプリ「アレぷり」の開発
山口 知香枝¹, 竹尾 淳², 近藤 康人³, 二村 昌樹⁴, 榎村 春江⁵, 浅野 みどり⁶, 川口 博史⁷, 杉田 晃³, 榎原 毅⁸(1. 金城学院大学 看護学部看護学科, 2. 名古屋国際工科専門職大学 工科学部情報工学科, 3. 藤田医科大学 医学部小児科学, 4. 国立病院機構名古屋医療センター小児科, 5. 名古屋学芸大学 管理栄養学部, 6. 修文大学 看護学部看護学科, 7. 刈谷豊田総合病院小児科, 8. 産業医科大学産業生態科学研究所)
2. Data Visualization の活用—野球観戦の UX 向上を例に—
須賀 瑞希, 吉武 良治(芝浦工業大学)
3. ポジティブ効果をもたらすアイドルのポーズと動き
藤田 杏珠, 吉武 良治(芝浦工業大学)
4. 倫理的消費を促進するためのナッジの活用
平野 雅大, 吉武 良治(芝浦工業大学)

D 会場
B202

転倒・転落 (AM9:00～10:30)

座長 黒坂 知絵(産業医科大学)

1. 脚立作業の転落リスク評価に向けたスコア化に関する基礎的検討
菅間 敦¹, 島崎 敢², 石垣 陽³, 高橋 明子⁴(1. 成蹊大学, 2. 近畿大学, 3. 電気通信大学, 4. 労働安全衛生総合研究所)
2. ウェアラブルデバイスによる転倒検知アルゴリズムの検証
黒坂 知絵, 丸山 崇(産業医科大学)
3. 地域高齢者の運動感覚と運動機能・転倒リスクとの関連
能登 裕子¹, 村木 里志²(1. 九州大学大学院医学研究院, 2. 九州大学大学院芸術工学研究院)
4. 仮想ライトタッチと転倒リスク検査技術 StA²BLE～社会実装に向けた取り組み～
島 圭介^{1,2}(1. 横浜国立大学, 2. UNTRACKED 株式会社)
5. 脚立上での作業方向と姿勢安定性の関係
佐川 貢一, 藤本 爽太(弘前大学)
6. ゴム製氷上耐滑靴と樹脂繊維不織布の乾燥および湿潤水面における靴底としての耐滑性
柴田 圭¹, 大西 明宏¹, 朝比奈 智², 山口 健³(1. 労働安全衛生総合研究所, 2. アトム株式会社, 3. 東北大学)

E 会場

B203

サービス (AM9:00~10:15)

座長 小林 大二(公立千歳科学技術大学)

1. 温泉施設等を活用したスポーツ合宿プランの実証
山田 クリス 孝介, 笹木 正悟, 小山 孟志, 山田 洋(東海大学)
2. 鎌倉行き来バリアフリー:バリアフリースイレとその案内標識
堀野 定雄¹, 小木 和孝², 佐伯 英敏¹(1. 神奈川大学, 2. 大原記念労働科学研究所)
3. 観光嗜好が不明確で履歴データもない旅行者への観光地推薦方法の検討
大峽 優貴¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
4. スポーツイベントの満足度を高める参加型改善(スポーツ PAOT)の実践
—産学官民連携によるプロスポーツイベントの改善活動—
山田 泰行¹, 青木 和浩¹, 窪田 敦之¹, 水野 基樹¹, 山中 航¹, 鈴木 宏哉¹, 田中 琢也¹, 渡部 宙¹, 細井 咲希¹, 甲斐 素子¹, 鈴木 大地^{1,7}, 和氣 秀文^{1,7}, 仲尾 豊樹², 吉川 徹³, 吉川 悦子⁴, 鳥居塚 崇⁵, 竹内 由利子⁶, 小木 和孝⁶, 森田 なつき⁷, 小倉 かさね⁷(1. 順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科, 2. 東京労働安全衛生センター, 3. 労働安全衛生総合研究所, 4. 日本赤十字看護大学, 5. 日本大学 生産工学部, 6. 大原記念労働科学研究所, 7. 順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構)
5. 販促 POP による選択肢の構造化が EC サイトでの購買選択に与える効果
榎波 晏子¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学大学院 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)

F 会場

B204

生体計測(2) (AM9:00~10:30)

座長 高橋 雄三(広島市立大学)

1. 報知音が画面の周囲に提示された情報の認知に与える影響—報知音を 8 方向と 2 方向から与える場合—
門間 政亮¹, 本多 薫²(1. 宇部フロンティア大学短期大学部, 2. 山形大学)
2. 眼球運動を用いたデブリーフィングによる救命救急室におけるリスク認知プロセスの抽出
浦野 貴徳¹, 青木 洋貴², 森下 幸治³, 工藤 篤⁴, 鳥羽 三佳代³, 安達 朋宏³, 木下 舞⁴(1. 東京工業大学, 2. 芝浦工業大学, 3. 東京医科歯科大学, 4. 東京医科歯科大学病院)
3. 疲労状態推定におけるアイトラッキングの役割:スコーピングレビュー
酒井 一輝, 谷 直道, 藤原 広明, 榎原 毅(産業医科大学)
4. ネット配信画面脇の誹謗中傷コメントに対する視聴者の視線特徴
川澄 正史, 荒岡 佑樹(1. 東京電機大学大学院)
5. 視覚情報と聴覚情報の時間差による人間の反応時間変化の定量化
伊藤 一也(大阪産業大学)
6. 目視内ドローン操縦中における視覚的ノイズによる空間認識精度に関する研究
山本 浩太郎, 谷田 公二(近畿大学)

E 会場
B203

作業・労働 (AM10:40~PM0:10)

座長 山田 クリス 孝介(東海大学)

1. 深部体温が発揮筋力に及ぼす影響の検討
小里 明男, 長田 裕司, 柏本 昭信, 河上 充佳(株式会社豊田中央研究所)
2. 鉄道運転作業に親和性の高い覚醒維持方策に関する基礎的検討
中川 千鶴, 赤塚 肇, 鈴木 大輔, 秋保 直弘, 鈴木 浩明((公財)鉄道総合技術研究所)
3. ウェアラブルデバイスを活用した日常生活の筋活動シミュレーション
福井 航¹, 平田 一郎¹, 野村 泰弘²(1. 兵庫県立工業技術センター, 2. ㈱アシックス)
4. 画面越しドローン操縦中の視覚刺激が及ぼす空間認識精度への影響
倉富 仁祐, 谷田 公二(近畿大学)
5. 子育て世代テレワーカーの健康観に影響する要因
市川 陽子, 辻 まどか, 斎藤 真, 大平 肇子(三重県立看護大学)
6. 良い作業システムを設計するための人間工学 JIS 規格の改正について
— JIS Z 8501:2024 と JIS Z 8502-1:2024 —
青木 和夫¹, 横井 元治², 山田 クリス 孝介³(1. 日本大学, 2. 認定人間工学専門家,
3. 東海大学)

F 会場
B204

障がい (AM10:40~PM0:10)

座長 山田 晋平(産業医科大学)

1. 視野制限下のタッチ操作に適したアイコン設計の評価に関するパイロットスタディ
豊田 航¹, 尾形 真樹²(1. 近畿大学, 2. 杏林大学病院)
2. 聴覚情報が晴眼及び視野狭窄状態における歩行中の視覚確認に及ぼす影響に関する基礎的検討
上山 璃稔¹, 尾形 真樹², 島崎 敢¹, 豊田 航¹(1. 近畿大学, 2. 杏林大学病院)
3. 街中の移動において視覚障がい者が必要な情報を取得する画像認識 AI の開発
葉山 凌, 鈴木 誠一, 加藤 茂, クリスティン ウィヨノ, 明石 基洋(成蹊大学 理工学部)
4. 視覚障害者におけるリスク認知の個人差に関する検討
大野 央人¹, 中野 泰志², 堀内 恭子³, 三宅 隆⁴, 赤塚 肇¹, 増田 貴之¹, 岡田 安巧¹(1. 鉄道総合技術研究所, 2. 慶応義塾大学, 3. 日本ライトハウス, 4. 日本視覚障害者団体連合)
5. 心不全患者の退院調整開始日予測モデルの開発とその有効性の検証
上之郷 研二¹, 大山 宗馬², 後岡 広太郎², 井上 巧², 薄田 海², 宮脇 良文¹, 安田 聡²
(1. 富士通株式会社ジャパンリージョンソリューションstransフォーメーション本部ウェルビーイング事業本部, 2. 東北大学大学院 循環器内科学)

C 会場
B201

姿勢・動作(2) (PM0:40~2:10)

座長 辛島 光彦(東海大学)

1. 視覚情報の変化が自動車の乗車動作に及ぼす影響
岡根 永将¹, 古屋 友和¹, 坂崎 純太郎², 菊地 謙², 樋口 貴広²(1. 東京都立産業技術高等専門学校, 2. 東京都立大学)
2. デスクワーク時の首・肩への負担を低減する姿勢の検討
南 星治¹, 富山 大基¹, 網浦 愛理子¹, 高橋 謙介¹, 伊藤 博之¹, 下村 義弘²(1. 株式会社イトーキ, 2. 千葉大学)
3. グリップによる卓球初心者のフォアハンド打球への影響
熊本 龍志¹, 宇野 直士², Ping Yeap Loh³(1. 九州大学大学院 芸術工学府, 2. 山陽小野田市立山口東京理科大学共通教育センター, 3. 九州大学大学院 芸術工学研究院)
4. 持ち上げ動作におけるアシストスーツ DARWING Hakobelude の補助効果検証
門脇 章人, 吉田 能雅, 小川 和徳(ダイヤ工業株式会社)
5. パワーアシスト装置における物体持ち上げ操作時の印象評価の経時的変化に関する実験的考察
小玉 一徳¹, 近藤 魁¹, 松田 凌弥¹, 岡田 弘樹¹, 池浦 良淳¹, 早川 聡一郎¹, 堤 成可², 吉田 俊一¹(1. 三重大学, 2. 香川大学)
6. テールゲートリフター使用時におけるロールボックスパレット等の逸走防止措置としての性能要件
大西 明宏, 柴田 圭(労働安全衛生総合研究所)

D 会場
B202

XR(2) (PM0:40~2:10)

座長 河合 隆史(早稲田大学)

1. VR マインドフルネスコンテンツにおける映像品質がストレス低下に与える影響
盛川 浩志(東京工科大学)
2. 3次元計測を用いた AR ゲームの操作方法とユーザ体験
大平 悠介, 大谷 亮賀, 角田 慎太郎, 出口 和希, 伴地 芳啓, 河合 隆史(早稲田大学)
3. MR 技術に適したエッセンシャルオイルの探求—アロマセラピー効果の主観評価—
佐々木 志門, 吉武 良治(芝浦工業大学大学院)
4. ハプティクススーツを用いた身体へのフィードバックの活用方法の検討
川辺 直人, 吉武 良治(芝浦工業大学)
5. ライブ感実現のための 4 チャネルスピーカを用いた包囲感のある拍手音の生成について
武藤 憲司, 細川 侑衣子(芝浦工業大学)
6. 閉眼時の点滅映像呈示の与える心理・生理的影響
河合 隆史, 伴地 芳啓(早稲田大学 基幹理工学部表現工学科)

E 会場
B203

交通 (PM0:40~2:10)

座長 栗谷川 幸代(日本大学)

1. **パイロット訓練データからの知識抽出に関する基礎研究**
狩川 大輔, 原武 佑次(東北大学大学院 工学研究科)
2. **運転支援機能による車線内ふらつき低減の操作支援効果**
塚田 竹美¹, 糟谷 賢太郎¹, 久保田 裕康¹, 岡田 周一¹, 石橋 基範², 栗谷川 幸代²(1. 本田技研工業株式会社, 2. 日本大学)
3. **路面性状が道路利用者に及ぼす影響—舗装修繕前後の比較—**
三浦 貴史, 神田 直弥(東北公益文科大学)
4. **安全運転支援の視聴覚警報による心理的效果と受容性**
荒木 智葉¹, 石橋 基範²(1. 日本大学大学院, 2. 日本大学)
5. **駅進入・進出時における鉄道運転士の注視行動**
鈴木 大輔¹, 菊地 史倫¹, 小池 隆治²(1. 公益財団法人鉄道総合技術研究所, 2. 株式会社エモヴィス)
6. **鉄道の駅構内と踏切付近における警告表示・禁止表示の改善についての研究**
久宗 周二¹, 浅田 明子¹, 矢花 一弥²(1. 神奈川大学工学部, 2. 神奈川大学工学部(現 立石電機株))

F 会場
B204

認知(1) (PM0:40~2:10)

座長 蜂須賀 知里(東京大学)

1. **音楽とにおいが持続的注意に与える影響—印象の一致が与える影響についての検討—**
岡村 友暉, 大藤 弘典(広島国際大学大学院 健康科学研究科)
2. **実験データに基づくチーム認知行動モデリング**
岡部 尚貴, 菅野 太郎(1. 東京大学大学院 工学系研究科システム創成学専攻)
3. **Authentic affect climate が創造性に与える影響についての実験的検証**
吉野 悠太, 仲村 忠司, 佐藤 拓海, 齋藤 涼, 坪井 隆浩(株式会社リコー)
4. **音声データに基づく会議中の話者感情および対話遷移の可視化に関する検討**
蜂須賀 知理¹, 姜 鵬¹, 王 楚¹, 菅野 太郎¹, 吉野 悠太², 渡辺 修平²(1. 東京大学, 2. 株式会社リコー)
5. **会議の創造性向上に寄与する顔表情パラメータの解明と活用手法の検討**
王 雲傑¹, 蜂須賀 知理¹, 菅野 太郎¹, 吉野 悠太², 渡辺 修平²(1. 東京大学, 2. 株式会社リコー)
6. **創造的な会議に向けたスキル抽出のための Critical Decision Method の開発**
青木 俊樹¹, 王 雲傑¹, 菅野 太郎¹, 蜂須賀 知理¹, 吉野 悠太², 渡辺 修平²(1. 東京大学, 2. 株式会社リコー)

C 会場
B201

生体計測(3) (PM2:20~3:50)

座長 三林 洋介(玉川大学)

1. 脳波リアルタイム解析アプリの開発と、開発アプリを用いた製品画像の印象評価の検討
水野 嶺, 小崎 瑞貴, 鈴木 雅也(東海光学株式会社)
2. 事象関連電位のクラスター分析を用いた十分学習済み脳状態に関する研究
船田 眞里子¹, 船田 忠²(1. 白鷗大学 経営学部, 2. ㈱藤掛商店)
3. 計算反復過程における戦略別の ERP の特徴化の試み(7)
渋谷 美紀, 船田 眞里子(白鷗大学)
4. 簡易型覚醒計測器の開発研究
三尾 雅人¹, 三林 洋介²(1. 玉川大学大学院, 2. 玉川大学)
5. 操作支援法効果の個人差に影響を与える要因の分析
門倉 悠真, 長島 正和, ミツ谷 祐輔(東芝インフラシステムズ株式会社)
6. 発話音声による鬱状態評価の可能性
塩見 格一, 新谷 純(福井医療大学)

D 会場
B202

XR(3) (PM2:20~3:50)

座長 倉岡 宏幸(公立千歳科学技術大学)

1. バーチャルオフィスの利用状況による作業者の心理生理への影響
吉田 伊吹, 小林 大二(公立千歳科学技術大学)
2. VR 空間での自然映像提示によるストレスと生理反応への影響
倉岡 宏幸¹, 樋上 光雄², 黒坂 知絵²(1. 公立千歳科学技術大学, 2. 産業医科大学)
3. 仮想空間におけるバイオモρφックデザインを手掛かりとした歩行に関する一考察
中居 真愛¹, 長谷川 美鈴², 小林 大二²(1. 公立千歳科学技術大学大学院, 2. 公立千歳科学技術大学)
4. 自己位置感覚に基づく仮想作業環境のレイアウトに関する研究
福田 龍誠¹, 桑田 若海², 小林 大二²(1. 公立千歳科学技術大学大学院, 2. 公立千歳科学技術大学)
5. 楽曲のテンポが視覚的回旋刺激で生じる VR 酔いに与える影響
伴地 芳啓, 河合 隆史(早稲田大学)
6. 自律型システムの eHMI による注意資源の供給が歩行者の知覚に及ぼす効果
堀 伊吹¹, 加藤 悠芽², 小林 大二²(1. 公立千歳科学技術大学大学院, 2. 公立千歳科学技術大学)

E 会場
B203

AI (PM2:20~3:35)

座長 福住 伸一(理化学研究所)

1. 少数ウェアラブル慣性センサを用いた立脚期足関節モーメントの AI 推定法の提案
芝田 京子, 渡邊 康平(高知工科大学)
2. 動作アシスト機器との協調におけるアシスト開始タイミングの検討
楠本 大地¹, Teerapapa Luecha², Wen Liang Yeoh³, Ping Yeap Loh², 村木 里志²(1. 九州大学大学院芸術工学府, 2. 九州大学大学院芸術工学研究院, 3. 佐賀大学 理工学部)
3. チームスポーツの移動軌跡データから場面評価を自動化する深層学習モデルの検討
田中 毅^{1,2}, 内山 彰², 山口 弘純²(1. 株式会社日立製作所 研究開発グループ, 2. 大阪大学大学院 情報科学研究科)
4. 医療事故防止を支援する生成 AI モデル構築の試み
小野 真子, 中西 美和(慶應義塾大学)
5. 視覚誘発電位による意思伝達支援システムの構築に関する研究
有馬 正和¹, 神谷 陸¹, 才木 常正², 中谷 真太郎³(1. 大阪公立大学, 2. 兵庫県立工業技術センター, 3. 鳥取大学)

F 会場
B204

装具 (PM2:20~3:35)

座長 佐藤 健斗(北海道科学大学)

1. センターブリッジ型膝装具における内外反矯正モーメントの定量化
中野 耕助¹, 嶺 也守寛², 勝平 純司², 山内 貫太郎², 野本 聡³, 北城 雅照³, 佐喜眞 一郎⁴, 佐喜眞 保⁴(1. 産業能率大学, 2. 東洋大学, 3. 足立慶友整形外科, 4. 株式会社佐喜眞義肢)
2. センターブリッジ型膝装具における下腿外側支柱部の機能評価
山内 貫太郎¹, 嶺 也守寛¹, 中野 耕助², 勝平 純司¹, 佐喜眞 保³, 佐喜眞 一郎³(1. 東洋大学, 2. 産業能率大学, 3. 株式会社佐喜眞義肢)
3. センターブリッジ型膝装具の内外反矯正モーメントと大腿脛骨角の関連
中野渡 詞大¹, 中野 耕助¹, 嶺 也守寛², 山内 貫太郎²(1. 産業能率大学, 2. 東洋大学)
4. カーボン材を活用した脊髄損傷者用動力付外骨格型機器の下腿フレームの軽量化
小山 秀紀, 池田 博康(労働安全衛生総合研究所)
5. 脳卒中片麻痺による装具使用者の装具および装具提供サービスに対する満足評価に有用な評価項目の検討
佐藤 健斗^{1,2}, 昆 恵介¹, 小林 大二^{3,2}(1. 北海道科学大学 保健医療学部, 2. 公立千歳科学技術大学大学院, 3. 公立千歳科学技術大学 理工学部)

C 会場
B201
教育 (PM4:00～5:00)

座長 吉武 良治(芝浦工業大学)

1. 「議論の十字」モデルに基づく説得力ある文章作成のための訓練プログラムの提案
 根岸 友希¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学大学院 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
2. 文字強調が長文の内容認知と理解に与える影響
 本多 ふく代¹, 本多 薫²(1. 東北文化学園大学, 2. 山形大学)
3. 英語学習サービスのための学習語彙に関する可視化描写システムの検証
 小野 真嗣^{1,2}, 曾我 聡起¹, 小林 大二¹, 田邊 鉄³(1. 公立千歳科学技術大学, 2. 室蘭工業大学, 3. 北海道大学)
4. ウェブカメラを用いた教師の視線情報の可視化によるオンライン授業支援法の検討
 劉 源, 蜂須賀 知理, 栗田 佳代子, 割澤 伸一(東京大学)

D 会場
B202
環境 (PM4:00～5:15)

座長 泉 博之(日本製鋼所 M&E 株式会社)

1. タスク・アンビエント照明利用時の机上面輝度分布が視的快適性に与える影響
 加藤 未佳¹, 石渡 颯平², 鳥居塚 崇¹(1. 日本大学, 2. 元日本大学大学院)
2. 2023年の船舶交通量を用いた騒音問題の検討
 中島 尚哉, 武藤 憲司(芝浦工業大学)
3. ミンミンゼミの鳴き声における騒音レベルの時間推移
 御園 玲央, 武藤 憲司(芝浦工業大学)
4. 車両走行振動下での良質な睡眠の実現—睡眠に影響する振動成分抽出のための動的線形モデリングパラメータ検討—
 菅原 朋子¹, 丸山 可那江², 山口 秀明², 久田 伊織², 長屋 隆之¹, 藤岡 英二²(1. 株式会社豊田中央研究所, 2. 株式会社アイシン)
5. 水平振動と音の複合環境における振動感覚の検討
 張 煜瑚¹, 栗飯原 萌², 松田 礼²(1. 日本大学大学院 理工学研究科, 2. 日本大学 理工学部)

E 会場
B203

認知(2) (PM4:00~5:30)

座長 吉成 哲(室蘭工業大学)

1. 説明動画の再生速度が中年成人の内容理解とマインドワンダリングに及ぼす影響
反田 智之¹, 柴原 百合名², 橋本 悠², 為沢 浩一², 和田 英久², 河原 純一郎¹(1. 北海道大学, 2. 株式会社イセト)
2. 知覚的流暢性の崩れが内容記憶に与える効果の検討—インフォグラフィックスを想定して—
飯野 七夏¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
3. 指差し動作の方略が位置の記憶に与える効果の検討
西塚 鈴¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学 創造理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
4. 運転適性評価を目指した認知的制御テストは運転関連のどのような機能を評価しているか
木村 貴彦¹, 増田 奈央子², 篠原 一光², 石松 一真³, 河野 直子⁴, 島崎 敢⁵, 小嶋 理江⁶, 青木 宏文⁶(1. 関西福祉科学大学, 2. 大阪大学大学院, 3. 滋慶医療科学大学大学院, 4. 大阪公立大学大学院, 5. 近畿大学, 6. 名古屋大学)
5. 創造的問題解決プロセスにおける人間と ChatGPT の対話方法に関する検討
内堀 貴仁¹, 小松原 明哲²(1. 早稲田大学大学院 理工学研究科, 2. 早稲田大学理工学術院)
6. 赤と青の点滅光によるフレーザー・ウィルコックス錯視への影響
小崎 智照¹, 銅木 晴花¹, 妹尾 武治², 北岡 明佳³(1. 福岡女子大学, 2. 九州大学, 3. 立命館大学)

F 会場
B204

デザイン (PM4:00~5:15)

座長 谷 直道(産業医科大学)

1. 施設内規則の情報提示におけるユーザ体験向上—大江戸温泉浦安万華郷を題材に—
綾部 文人, 吉武 良治(芝浦工業大学)
2. 日々の製品利用経験評価と一連の利用期間における総合的な満足の評価の関係の分析
土井 俊央(大阪公立大学)
3. 動作原理の説明を付加した家電製品マニュアルにおける注視行動分析—紙と動画の比較—
黒田 俊希¹, 土井 俊央²(1. 大阪市立大学, 2. 大阪公立大学)
4. 窓掃除中におけるスクイジーハンドルデザインが手掌や上腕の負担に与える影響
前田 夏輝¹, Ping Yeap Loh²(1. 九州大学大学院芸術工学府, 2. 九州大学大学院芸術工学研究院)
5. 電動車いすでの道路横断時における振動触覚刺激を用いた注意喚起方法の検討
大河原 温人, 古屋 友和(東京都立産業技術高等専門学校)